



作品タイトル：「桃源の道」第7回 佳作
撮影場所：三豊市高瀬町

3

2018 / 弥生



うずまきもち 伝承されてきた背景【主な伝承地域：東かがわ市引田地区】

うずまきもちは、引田に昔から伝わる伝統的なお菓子。甘味をおさえた上品な味が何とも言えないおいしさです。うずまきもちのうずは、「鳴門の渦」を表していると伝えられています。昔、鳴門の海は引田の漁師にとって大事な漁場でした。ところが、蜂須賀（はちすか）公が阿波（徳島県）の殿様になられてから、鳴門の漁場を追われてしまいました。そこで、渦だけは引田のものとして、お菓子にその思いを託して残したと言われていました。引田では、ご先祖様にお供えしたり、ピンクの色がほんのりついているところから、節句のお祝いにも作っているそうです。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ひな祭り
4 粟島ももて祭 (三豊市詫間町粟島神社)	5	6 啓蟄	7	8	9	10
11 大浜ももて祭 (三豊市詫間町船越八幡宮・大浜海岸)	12	13	14	15	16	17
18 彼岸 生里百々手祭 (三豊市詫間町三宝荒神社)	19	20	21 春分の日 春分	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

農村行事

ももて祭
厄払いと大漁・豊作、海上安全を祈願して行われるももて祭の弓射儀礼は無形民俗文化財に指定されている。



【県指定無形民俗文化財】

粟島ももて祭
(三豊市詫間町粟島神社)
3月4日



【県指定無形民俗文化財】

大浜ももて祭
(三豊市詫間町船越八幡宮・大浜海岸)
3月11日



【国の重要無形民俗文化財】

生里百々手祭
(三豊市詫間町三宝荒神社)
3月18日



さくらまつり
(綾川町西分)
3月下旬
水仙ロードを歩きながらしだれ桜を鑑賞。しし汁や地元特産品、草餅の実演販売も行われる。